

平成31年4月21日執行
取手市長選挙

選挙公報

取手市選挙管理委員会

竹原だいぞう 市民の命・存在をまもる本気の覚悟 取手に「あたらしい風」を!

高齢者・福祉環境も
子育てのことも
くらしの安全・安心も

市民と共に

すべての事業に
時間軸を定めて
計画
改善
実行
検証

1『まちづくり協議会設置』

地域の課題は地域で解決しやすくするため
地域に委ねる予算制度の確立

2おひとりおひとりの困難に寄り添う環境づくり。

市民や市のために活動をしている団体・民間が更に活動し
やすくなるよう手厚く支援、行政サポートを充実させます。

3 主役は市民。政策立案は市民・民間アイデア活用。

まちの活性

- 茨城の玄関口である利根川河川敷を一部改修『あたらしい緑地公園』に。
- 12年経っても未だ『進まない開発』は市から地権者への熱意の欠如が原因。丁寧に対話を。
- 『インバウンド事業』。東京泊の訪日外国人観光客を対象にした「日帰り観光」の仕組みづくり。
(ガイドマップ作成・環境整備・防犯対策等)。まずは議員時代提案したベトナム政府と連携。

広域連携

守谷市⇒競争から共存へ。公共バス、広報誌での情報共有、サイクリングロード整備等。
海外⇒人材交流に加え経済協力も。

S52.2生 42才・衆院議員公設秘書、経営コンサル業を経て取手市議会議員(歴代最高得票)歴任・東京スクールオブビジネス卒
・茨城南青年会議所卒、大根根ライオンズクラブ、土浦検察審査協会理事、在日米商工会議所・新町在住、4人家族:妻の実家は
小文間でアトリ工主宰、娘(13)、息子(7)、私の母も取手で1人暮らし◎事務所 戸頭204-2◎電話0297856015◎FAX0297856016

市長交代後すぐ実行

1、県知事と連携『営業戦略部』設置

国内外に向け地元企業等のPR・営業手助け、
企業誘致、生涯現役仕事の創出。

2、すべての『事業の精査・仕分け』

取手駅前『ウエルネスプラザ』使途の見直し。

3、『総合計画』をあたらしく

市民おひとりおひとりのしあわせ最優先!

教育環境・保育サービス

1『いじめ未然防止、早期発見、即対応、 相談しやすい環境に』

地域の皆様と共に考え子ども達を守ります。
全責任は市長がきちんと取る当たり前の市政運営に。

2 駅前等に『送迎保育ステーション設置』

市内指定保育所・園にワンストップで登園・降園可能に。



たけはら だいぞう
竹原だいぞう

無所属

昭和五十二年二月十五日(四十二才)

より力強く! 取手は今新たなステージへ!

確かな実績

数字で見る改革の成果

- 定住化促進で人口動態は転入超過へ。
74,641名(H23)からプラス28名(H30)
- 企業誘致で市内従業者数も増加しています。
29,712人(H24)から30,489人(H28)

着々と進めた公共施設と道路の整備

- 小中学校の耐震化と大規模改修
- 小中学校普通教室へのエアコン導入
- 井野なないろ保育所の新設
- 取手市民会館・藤代公民館の大規模改修
- 藤代駅北口交通広場の改修整備
- 台宿坂上の道路拡張整備・通学路の改善

藤井しんごのプロフィール

- 1983年 東京大学法学部卒業 ●茨城県市長会副会長
- 民間保険会社に勤務 ●県南水道企業団企業長
- 2007年 取手市長に初当選 ●全国市長会評議員
(現在に至る)

藤井しんごは、
未来への責任を果たします。

“まちの質” “暮らしの質” を高める 活力ある政策を実行します

◇次世代の“とりで”のための土台づくり

- ・魅力ある取手駅西口交通広場整備と再開発事業の推進
- ・桑原地区に都市型商業交流拠点の整備推進
- ・取手駅東口構内のバリアフリー化の実現

◇子育て・教育都市“とりで”の実現

- ・送迎保育ステーションを取手駅前に整備
- ・小中学校の特別教室へのエアコンの設置
- ・医療費補助を18歳まで拡大(実施済)
- ・電子黒板やタブレット端末の活用を推進

◇生き生きと生活できる地域づくり

- ・若者子育て世代の定住支援策をさらに充実して継続
- ・防災ラジオの導入とニセ電話詐欺防止のための支援
- ・路線バスやコミュニティバスの乗り換え割引制度の導入
- ・高齢者の買い物支援などの地域サポート体制づくり



ふじい しんご
藤井しんご

無所属

昭和34年12月25日生

市の鳥フクロウ

取手市長選挙

市の鳥カワセミ

みなさん選挙に行こう!

《開設時間》

午前7時~午後6時



みんなの一票大切に!

投票日 4月21日(日)

同時に執行予定であった取手市議会議員補欠選挙については、候補者が選挙すべき議員の数(欠員2人)を超えないため、無投票となりました。